

部門/会場	リーダー氏名	サブリーダー 氏名		
10階 1003号室	パストガバナー 井上 暎夫	ガバナーノミニー・	山本 博史	大阪南
		デジグネート		
		地区研修委員	岡田 耕治	東大阪東
		地区代表幹事	樋口 信治	大阪
議事録作成者	担当 SAA 清水 雄一郎			

開会：(15時 35分)
発表者：井上 暎夫 パストガバナー
<p>【記録内容】 「クラブ幹事の役割」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区研修で塚本 PG から「幹事は扇の要。要がしっかりしなければクラブはバラバラになる。毎日事務局へ行きなさい」と言われた。そこまではできなかったが、毎日クラブのことを頭の片隅に置いていた。常に事務局と連絡を取り、任せきりにしないこと。 ・まず自クラブの歴史を学び、棚卸し（会員数、出席率、寄付等）をする。歴史に関わる資料を確保し、次年度に引き継いでいく。単年度であるからこそ、バトンタッチが必要である。 ・ロータリアンとしてこれがチャンスだと思って学んでほしい。
発表者：岡田 耕治 地区研修委員
<p>【記録内容】 「SAA の役割」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SAA は会場監督であるとともに役員であり、高い権限を与えられている。会場全体を見渡し、例会の指揮官として役割を果たして欲しい。凜とした格調高い例会になるかどうかは SAA にかかっている。私語への対応、ビジターへのホスピタリティー、座席配置まで範囲は広い。例会がイレギュラーな進行になった場合に対応するかなど、新年度の前に副 SAA や幹事と打ち合わせして備えておくと良い。
発表者：栗原 大 地区広報委員長
<p>【記録内容】 「My Rotary の活用」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペーパーレス化、IT 化を進めるのが地区の方針であり、その一環として My Rotary を活用してほしい。 ・My Rotary の利点や機能の紹介。（つながりを広げる、ロータリーの情報入手、国際大会への登録、補助金申請、ロゴの入手、グローバルリワードの使用、会長賞へのエントリー） ・各クラブ会員の登録を推進してほしい。年度初めの登録率は 7.6%（世界 14%）だったが、現在は地区で 17.7%となっている。世界は 24%となっており、世界水準をめざしたい。例会前に会場前で登録作業をしたり、会社訪問して登録を進めているクラブもある。各クラブ 30%をめざしてほしい。なお、登録したアドレスを使わないとカウントされないの、注意が必要。

発表者：大野 康裕 次年度地区副代表幹事

【内容】 「クラブを成功に導くリーダーシップ 幹事編」読み上げ

- ・「幹事の責務」、「My Rotary」、「管理運営」、「他クラブとの連絡」、「会員データの管理」、「財務」、「リソース参考資料」等を読み上げ。
- ・7月、1月にRIより@28ドルの人頭分担金の請求書が届く。請求書発行後の訂正はできないので、人数の適正な申告が必要。
- ・RIの定款は3年ごとに改定されるので注意。

発表者：山本 博史 ガバナーノミニーマニーマニークラブ

【内容】 「クラブを成功に導くリーダーシップ 幹事編」解説

- ・クラブの定款はRI標準と一致しなければならない。細則は定款と矛盾しなければ各クラブで作ることができる。RI推奨のクラブ細則が年度中にできるので、会員人数分を注文して配布する。
- ・2月1日までに次期役員が必要。
- ・他クラブからの移籍については前クラブに会費の滞納がないか確認をする。それだけではなく、特に地区内での移籍はトラブルのないよう連絡を密にすることが必要である。

発表者：井上 暎夫 パストガバナー

【内容】 「規定審議会・地区大会代議員について」

- ・RI定款の改定案が可決されると7月1日から新ルールとなり、各クラブの定款も自動的に変わる。各クラブが独自に変更できるのは名称と所在地のみ。細則は各クラブで作ることができるが、定款と矛盾があってはならない。
- ・規定審議会で決議された内容は2ヶ月以内に各クラブに通知される。各クラブは反対表明をすることができ、反対クラブが5%を超えると新ルールの適用は保留となる。全クラブの投票（13名以上で1票、25名で1票）で反対が過半数を超えると決議は無効になる。
- ・来年に2016年版の手続き要覧が配布される。

発表者：岡田 耕治 地区研修委員

【内容】 「フレッシュロータリアンフォーラムの案内」

- ・フレッシュロータリアンフォーラムの案内
- ・SAAの役割の補足。ここにこ箱は本来強制すべきものではないが、予算化されているのが実情。SAAが獲得金額に関心を傾けすぎると、本来の役割・意義から逸脱することもあり得る。ここにこは本来奉仕活動に使うべきもので、会員を受益者に想定するものではない。一般会計に入れているクラブが大半であるが、別会計にしているクラブもある。こうしなければならないということではないが、それが本来の姿であるようにも思う。

【内容】 「質疑応答」

- ・大阪梅田東RCより資料に記載された会員数などのデータの意味と卓話銀行についての質問があり、回答。

発表者： 山本 博史 ガバナーノミニー・デジグネート

【内容】 「閉会挨拶」

・資料に書いてあるのは幹事やSAAの仕事の半分。残り半分は皆さんの熱意と気配りである。良い幹事、良いSAAが続けばクラブは活性化する。皆さんに地区とクラブの将来がかかっている。よろしくをお願いします。

閉会 (17時 00分)